

ホクショーは、卓越した物流システムで生産効率を向上する

今日の産業は、賃金上昇、労働力不足、洗練された製品に対する需要など、多くの課題に直面しています。顧客への優れた成果を出し続けながら、生産スピードを向上させるためには、適切なマテリアルハンドリングシステムを導入することが不可欠です。産業界がオートメーションやその他のインダストリー4.0 による問題解決を進めるにともない、地方の主要マテリアルハンドリング機器メーカーであるホクショーは、日本の最新技術をベースにした物流機器を提供し産業界を支えていくことで、市場の変化に 대응していきます。

機械を扱う商社として起業し、農家が 60 キロの米袋を持ち上げ保管する苦役を創業者が目ざとりにしたことから、社歴数十年のファミリービジネスは 1950 年代に初の製品としてスラットコンベヤを開発しました。ホクショーは、その後、三代目となる北村宜大社長の経営のもとに、特許を取得した様々な物流システムを開発してきました。

「自動化投資が伸張するなかで、新しいソリューションを絶えず開発するとともに、既存製品を常に改善し改良を加えていくことに速やかに取り組んでいきます。」と北村社長が答えます。

多階層の工場や倉庫へ納入しているホクショーの標準製品には、垂直移送システム、ピースアソートシステム（PAS）や仕分け搬送システムなどの自動仕分けシステム、クリーン垂直搬送システムがあります。さらに、ホクショーは、人件費の節約と業務合理化を実現するパレタイジング、パッケージング、各種自動化ラインシステムなどのシステムエンジニアリング製品を提供しております。

ホクショーは、確かな技術ノウハウを用いて、冷凍倉庫の作業効率を向上する環境システムを開発しています。新鮮な農産物や食品を求める消費者の需要の高まりに対し、革新的で信頼性の高い食品保管と荷捌きのソリューションがメーカーに求められています。ホクショーは、日本、韓国、東南アジアでの存在感を強固なものにすることに加え、急速に拡大する中国の冷凍倉庫市場への浸透を図っています。

「当社の存在価値は社会への貢献にあります。」北村社長は続けます。「私たちは、納期、コスト、品質の要求を満たす能力を継続的に強化し顧客に貢献していきます。」